

閉園によせて

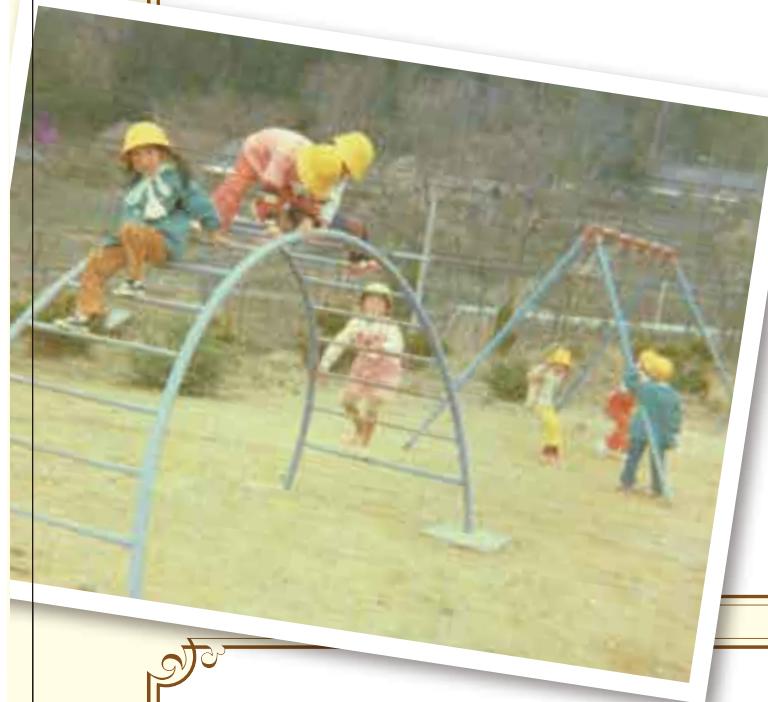
結の里坪沼のゆりかごとして

坪沼幼稚園運営委員会 平成25年度運営委員長 佐藤 多喜雄

この坪沼幼稚園は、地域の願いを受け、実に35年間、この坪沼の子どもたちを育んで参りました。設立される以前は、「坪沼季節保育所」として、北区集会所内やお寺、小学校体育館などを間借りした農繁期の季節保育所がありました。坪沼にも幼児教育の充実をと、初めは公立幼稚園を要望しておりましたが、諸般の事情から実現が厳しく、町内会立の幼稚園の設立となつたのです。当時は「幼稚園設立準備委員会」を立ち上げ、地域の合意のもと、市当局への幾度もの陳情、話し合いを経て、実際に2年間の準備期間の後、坪沼小学校内に併設されるに至りました。仙台市教育委員会には、設立当初から数々のご援助を賜り、ここに至っておりますこと、改めて感謝申し上げます。

さて、坪沼の4町内会は、皆で思いを一つにし、子どもたちの教育に対して、地域住民が一致協力して運営を支える姿勢は、設立当初から変わっておりません。しかし、昨年度から何度か地域の皆様と話し合いを重ねて参りましたが、少子化の波を避けることができず、地域の皆様のご支援をもってしても、運営が厳しい状況となり、やむなく閉園することになりました。

坪沼の大事な宝である子どもたちの集う場がなくなることは、断腸の思いではあります、ここにこれまでの皆様の多大なるご支援を感謝申し上げます。閉園となりましても、坪沼の熱い思いを生かした新たな町づくりにご協力をお願いいたします。



平成25年度園長 仙台市立坪沼小学校校長 成瀬 秀治

美しい自然と田畠に囲まれた校舎から、小学生の元気な声と園児の明るくかわいらしい声が聞こえる情景は、何ともどこかで心が洗われる感がありました。その校舎から園児の声がなくなることは、大変残念で愛惜の思いでいっぱいです。

坪沼幼稚園は、35年前の昭和53年に、それまで行われてきた農繁期の幼稚保育を基盤とし、地域立の幼稚園として設立されました。「地域の子どもたちを地域の力で育てる」という基本的な考えは、35年間一貫したものでした。多くの子どもたちが幼児期からこの地で教えを受け巢立ち、その責務を十分果たしたものと思われます。

地域の少子化にともない、今年度をもって閉園となります、これまで支えていただきました地域の皆様、ご支援を賜りました仙台市、関係各位に対しまして深く感謝申し上げると共に、坪沼地域の子どもたちにこれまでと変わらぬ温かいご支援を賜りますようお願い申し上げ、閉園のあいさつといたします。

